

管理医療機器

歯科材料05 歯科用接着充填材料
歯科用酸化亜鉛非ユージノールセメント

JMDN 70838002

キャンシール®

CANSEAL

【禁忌・禁止】

本材の成分に対し過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

※※【形状・構造及び原理等】

【形状】

散及び液からなる。

＜組成＞

散：酸化亜鉛、ロジン、酸化マグネシウム
液：脂肪酸、オルトエトキシ安息香酸、プロピレングリコール

＜性状＞

散：白色～微黄色の粉末で、わずかに特異なおいがある。

液：無色～淡黄色の澄明な液で、わずかに特異なおいがある。

【構造・原理】

酸化亜鉛及び脂肪酸を主体とする補綴物の合着用材料

【品目仕様】

項目	規格値
硬化時間	2～10分
圧縮強さ	5 MPa以上

該当規格：JIS T 6610：2013

「歯科用酸化亜鉛非ユージノールセメント」

【使用目的又は効果】

仮封

※【使用方法等】

用時、液1に対して散を4～8の割合でとり、少量ずつ加えて練合し、パスタ状として局所に用いる。なお、液と散の配合比は適宜増減できる。

【使用方法】

(1) 練和

本材の適量（標準散液比は、液：2滴（約0.06mL）に対し、散：0.2～0.4gである）を練板上にとり、液に散を徐々に加えて約1分練和する。（本材は練和温度20～25℃、湿度40～60%RHの条件で、練和終了からの操作時間は2～3分である。硬化時間は約5分である。）

(2) 填塞

上記のように練和したセメントを窩洞に填塞する。その後アルコール綿球で軽く圧接しながら窩洞に正しく填塞し、同時に表面形成を行う。

(3) 術後の整備

仮封終了後、器具に付着した本材は、硬化しないうちにアルコール綿などで拭き取ること。

(4) 仮封材の除去

仮封材の除去は、エキスカベータを加熱して行う。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- (1) 窩洞が深いときは、適正な方法によって歯髄を保護すること。
- (2) 標準散液比を極端に変えると、封鎖性及び圧縮強度が低下するので注意すること。
- (3) 本材の練和泥に水やアルコールを添加すると、強度が激減し、破折や脱落を起こすので注意すること。
- (4) ヨウ素系薬剤は、本材の硬化に影響を与えるので併用は避けること。
- (5) 本材の「散」には必ず本材の「液」を使用すること。
- (6) 本材の液瓶には、新しい液をつぎ足さないこと。
- (7) 本材は、水分が多いと練和や硬化時間等に影響を及ぼすことがあるので、練和する器具は、必ず乾燥したものを使用すること。

【使用上の注意】

- (1) 本材の使用により発疹などの過敏症状があらわれた場合には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- (2) 本材は、口腔粘膜や皮膚に付着させないように注意すること。また、目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。
- (3) 本書に記載の用途以外には使用しないこと。
- (4) 本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

【貯蔵・保管方法】

- (1) 液及びセット品（液）：遮光、室温保存
散及びセット品（散）：室温保存
- (2) 本材の「散」「液」は、水分が練和や硬化時間等に影響を及ぼすことがあるので、使用後直ちに密栓し、室温で保管すること。ただし、「液」は遮光保管すること。
- (3) 本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【使用期限】

3年

【包装】

【セット品】

キャンシール：散50g、液20mL

【単品】

キャンシール散：50g

キャンシール液：20mL

※※【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

昭和薬品化工株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目17番11号

TEL：0120-648-914

＜受付時間＞9:00～17:30（土・日・祝日・当社休日を除く）